

平成22年度	土佐塾中学校入学試験問題（県外Ⅱ）	社 会	5枚のうち1枚目
--------	-------------------	-----	----------

受験番号

《解答はすべて5枚目の解答用紙に記入しなさい。》

- 問1 見聞** つぎの文章は土佐塾中学生のももさんとさくらさんの会話です。この文章をよく読み、あとの問いに答えなさい。
- も も： さくらちゃん。これ、おみやげだよ。このキーホルダーはね、[1]卑弥呼（ひみこ）の鏡ともいわれる、三角縁神獣鏡（さんかくぶちしんじゅうきょう）という昔の鏡のミニチュアだよ。夏休みに家族で[2]奈良に3泊4日の旅行をしてきたんだ。奈良県の橿原（かしはら）市にある博物館で買ってきたんだよ。
- さくら： ももちゃんのお家って、毎年家族で旅行してるよね。去年は[3]福岡で、おとしは[4]長崎で、その前は[5]広島だったっけ。
- も も： その前の年が[6]熊本で、その前が[7]島根だったかな。小学校の間は、毎年、家族旅行の行き先について調べたことを、夏休みの宿題の自由研究にしていたからね。さくらちゃんは夏休みはどこにも行かなかったの？
- さくら： おばあちゃんの家に行ったくらいかな。うちは夏休みには出かけずに、毎年、冬休みに[8]北海道にスキーに行ってるから。
- も も： いいなあ、飛行機で行くんだ。うちはドライブ旅行だから、西日本ばかりだよ。それはそうと、アルバム見てよ。私が写っている写真はお父さんが写したんだけど、それ以外は私が写した写真だよ。
- さくら： 最初の写真は橋しか写ってないけど、これは何？
- も も： お父さんったら、高速道路の深夜割引を利用するからって、朝の3時半に出発したんだよ。そうしたら、ちょうど[9]瀬戸大橋の上で夜が明けてきたから、走っている車の窓から朝日をのぞこうとしたんだけど、雲がかかっているうまくとれなかったの。
- さくら： 2枚目は、どこかのサービスエリアみたいね。
- も も： [10]兵庫県にある三木サービスエリアだよ。ここで朝ごはんを食べたんだ。平日の朝だったから、ここを出た後、[11]大阪あたりでラッシュアワーにまきこまれて、お父さんイライラしていたわ。
- さくら： つぎは、どこかのお寺ね。
- も も： 最初に行った法隆寺（ほうりゅうじ）だよ。[12]聖徳太子がつくったことで有名だよ。こっちの写真は、法隆寺のつぎに行った橿原市にある博物館だよ。そのおみやげは、ここのミュージアム・ショップで買ったんだ。思ってたより大きな博物館だったわ。さすが、奈良県というところね。
- さくら： こっちの写真は見たことがあるわ。石舞台古墳（いしぶたいこふん）よね。
- も も： そうだよ。午後は明日香（あすか）村に行って、高松塚古墳（たかまつかこふん）や石舞台古墳を見たんだ。石舞台古墳って、[13]蘇我馬子（そがのうまこ）のお墓だと言われているらしいけど、本当に大きな石が使ってたわ。中にも入ることができるのよ。その後、宿に行ったんだけど、最初の日は石舞台古墳の近くで泊まったんだよ。
- さくら： つぎの日はどうしたの。
- も も： 午前中は明日香村で、飛鳥資料館（あすかしりょうかん）とか、万葉文化館に行ったんだよ。こっちの、庭に石の像がならんでるのが飛鳥資料館で、こっちの人形があるのが万葉文化館だよ。[14]万葉集のころの生活のようすをあらわしているんだって。
- さくら： この仏像は知ってるわ。飛鳥寺の飛鳥大仏でしょ。
- も も： そうだよ。でも、大仏っていうからもっと大きいかと思ってたわ。ここからが、2日目の午後ね。この写真の塔（とう）が薬師寺（やくしじ）の東塔で、こっちが唐招提寺（とうしょうだいじ）。有名な[15]鑑真（かんじん）の像が見たかったんだけど、ふだんは見られないんだって。残念だったな。その後は、奈良市の中心部の奈良町（ならまち）なんかを見て、2日目はJR奈良駅の近くのホテルに泊まったんだ。
- さくら： ここからが3日目の写真ね。あ、東大寺の大仏殿だ。
- も も： [16]奈良時代につくられた最初の大仏は、[17]平安時代の末の源平の合戦の時に、[18]平氏に焼き打ちされ、[19]鎌倉時代につくりなおされた2代目の大仏は、[20]戦国時代に戦いにまきこまれて焼け、[21]江戸時代につくりなおされた3代目が、今の大きな仏なんだって。お父さんに教えてもらったよ。
- さくら： ももちゃんのお父さんて、歴史が好きだよ。
- も も： 「歴女（れきじょ）」じゃなくて「歴男（れきだん）」てよんであげて。東大寺の後には、奈良国立博物館や興福寺（こうふくじ）を見たよ。有名な興福寺の阿修羅像（あしゅらぞう）が、[22]東京や九州の国立博物館に貸し出し中で、見られなくて残念だったな。
- さくら： じゃあ、3日目は奈良市内を見てまわったのね。
- も も： そうだよ。ホテルは興福寺の近くに移ったけど。[23]1909年にできてから100年目という老舗（しにせ）のホテルなんだけど、天井（てんじょう）がすごく高く、いかにもクラシックって感じだったわ。
- さくら： 3泊4日だから、次の日が最後の日よね。
- も も： 4日目は、朝、平城宮跡（へいじょうきゅうあと）を見に行ったよ。でも、ここも来年の平城遷都（せんと）1300年のために、資料館が改装（かいそう）中で見られなかったのが残念だったな。お昼ごろに奈良を出発して、帰ってきたの。今年の旅行は、見られなかった所が多かったから、奈良にはもう1度行きたいな。でも、東の方にも行ってみたいから、来年は[24]長野県がいいかな。長野県はお父さんとお母さんが新婚旅行で行ったそうだから。それとも、思いっきり遠くまで出かけて、[25]青森県もいいな。

- 問1 文章中の下線部[1]に関連して、つぎの3つの文のうち、卑弥呼のころの日本のようすを説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。（たとえば、文1・文4が正しく、文2がまちがっていれば、答えは5となり、3つの文がすべて正しければ、答えは7となる。なお、正しい文がなければ0と答えよ。）
1. 米づくりが始まっていたが、金属器はまだ使われていなかったの、石ぼうちょうという石器で米を収穫（しゅうかく）した。
 2. 米づくりが始まったことで、貧富の差や身分の区別がなくなってきた。
 4. 卑弥呼が中国に使者を送ったことが、『魏志（ぎし）』という中国の歴史の本の「倭人伝（わじんでん）」という部分に書かれている。

平成22年度	土佐塾中学校入学試験問題（県外Ⅱ）	社 会	5枚のうち2枚目	受験番号

問2 文章中の下線部[2]に関連して、つぎの3つの文のうち、奈良について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

- 1. 奈良県の気候は、夏は南東の季節風の影響で、高温多雨であり、とくに南部の尾鷲（おわせ）市は全国でも最も雨が多くのことで知られる。
- 2. 現在、奈良県には「法隆寺地域の仏教建造物」・「古都奈良の文化財」・「紀伊（きい）山地の霊場（れいじょう）と参詣道（さんけいどう）」の3つの世界遺産がある。
- 4. 奈良県北部は、大阪に近いことから、近年では大阪のベッドタウンとなっている。

問3 文章中の下線部[3]に関連して、つぎの3つの文のうち、福岡について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

- 1. 福岡県には炭鉱が多く、一時は石油におされ、生産量が減少していたが、地球温暖化が問題となっている近年では、二酸化炭素を出すことの少ない石炭が見直され、生産量はふえている。
- 2. 福岡県を中心とした北九州工業地帯は、官営八幡製鉄所（かんえいはたせいてつじょ）がつくられたことがきっかけで発達した。
- 4. 福岡県の筑豊（ちくほう）炭田の石炭を利用した製鉄業がさかんなので、北九州工業地帯は、中京工業地帯につぐ日本第2位の工業製品出荷額をほこっている。

問4 文章中の下線部[4]に関連して、つぎの3つの文のうち、長崎について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

- 1. 長崎県はリアス式海岸であるため良い港が多く、近くに良い漁場もあるので、漁業がさかんである。
- 2. 長崎県と佐賀県、熊本県にかこまれた有明海は、長崎県の島原半島と熊本県の天草（あまくさ）諸島を結ぶ位置で海をしきり、埋め立てがおこなわれたので、海面はほとんどなくなっている。
- 4. 江戸時代に日本でただ1か所の貿易港であった長崎は、明治時代から後も日本最大の貿易港であり、太平洋戦争が始まるまではその地位をゆずらなかった。

問5 文章中の下線部[5]に関連して、つぎの3つの文のうち、広島について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

- 1. 広島県ではカキの養殖がさかんであったが、プランクトンが異常に発生する赤潮（あかしお）の影響で、現在ではまったくおこなわれていない。
- 2. 現在、広島県にある世界遺産は、「原爆ドーム」と「厳島（いつくしま）神社」の2つである。
- 4. 広島に落とされた世界最初の原子爆弾は、日本の戦意をうばい、翌月、日本の無条件降伏で太平洋戦争は終わった。

問6 文章中の下線部[6]に関連して、つぎの3つの文のうち、熊本について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

- 1. 九州の南部にある熊本県の気候は、1年じゅう温暖で多雨であり、海岸にはマングローブの林が見られる。
- 2. 熊本県の阿蘇（あそ）山のカルデラは、火山灰が大量につもっており、シラス台地とよばれる。
- 4. 1877年、大隈重信（おおくましげのぶ）ひきいる熊本県の士族（しぞく）は、西郷隆盛（さいこうたかもり）ひきいる鹿児島県の士族とともに反乱をおこし、4年にわたる西南戦争が始まった。

問7 文章中の下線部[7]に関連して、つぎの3つの文のうち、島根について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

- 1. 島根県は、冬は北西の季節風と日本海流の影響を受け、雪が多く、くもりがちの日がつづく。
- 2. 島根県東部の海岸では砂丘を利用したナシの栽培がさかんで、島根県のナシの生産量は日本一である。
- 4. 島根県西部の石見銀山（いわみぎんざん）は、現在でも世界有数の銀の産出量をほこっている。

問8 文章中の下線部[8]に関連して、つぎの3つの文のうち、北海道について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

- 1. 北海道の内陸部は、夏と冬の気温の差が小さく、降水量の少ない内陸性気候である。
- 2. 夏でも気温の低い北海道の農業は畑作中心で、米はほとんどつくられていない。
- 4. 北海道南西部の室蘭（むろらん）市は製鉄業が、苫小牧（とまこまい）市は製紙業がさかんなことで知られる。

問9 文章中の下線部[9]に関連して、つぎの8つの組み合わせのうち、瀬戸大橋が結ぶ都市の組み合わせとして正しいものを1つ選び、番号で答えなさい。

- 1：兵庫県神戸市－徳島県徳島市
- 2：兵庫県明石（あかし）市－徳島県徳島市
- 3：兵庫県明石市－徳島県鳴門（なると）市
- 4：岡山県岡山市－香川県高松市
- 5：岡山県倉敷（くらしき）市－香川県高松市
- 6：岡山県倉敷市－香川県坂出（さかいで）市
- 7：広島県尾道（おのみち）市－愛媛県松山市
- 8：広島県広島市－愛媛県今治（いまばり）市

平成22年度	土佐塾中学校入学試験問題（県外Ⅱ）	社 会	5枚のうち3枚目
--------	-------------------	-----	----------

受験番号

問 10 文章中の下線部[10]に関連して、つぎの3つの文のうち、兵庫県について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

1. 兵庫県南部は瀬戸内海に面しているので、1年を通じて雨が少なく、晴れた日が多い。
2. 兵庫県では、やさいや草花を栽培する近郊（きんこう）農業がさかんで、淡路（あわじ）島のたまねぎはよく知られている。
4. 平清盛（たいらのきよもり）は、現在の兵庫県神戸市あたりに港をきずき、宋（そう）とよばれた当時の中国と貿易をおこなった。

問 11 文章中の下線部[11]に関連して、つぎの3つの文のうち、大阪について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

1. 大阪府は、大阪湾の埋め立てにより面積が大きくなり、香川県の面積をぬいて、日本で最も小さい都道府県ではなくなった。
2. 1615年の大阪夏の陣で、豊臣秀吉（とよとみひでよし）が徳川家康（とくがわいえやす）にやぶれ、豊臣氏はほろんだ。
4. 江戸時代の大阪は、全国から物資が集められ、経済の中心地として「天下の台所」とよばれた。

問 12 文章中の下線部[12]に関連して、つぎの3つの文のうち、聖徳太子について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

1. 日本に仏教が初めて伝わったのは、聖徳太子が朝鮮（ちょうせん）半島の百済（くだら）から仏像などをとりよせたことによる。
2. 聖徳太子は、最初の法律である大宝律令（たいほうりつりょう）をつくったことで知られる。
4. 聖徳太子は、隋（ずい）とよばれた当時の中国に使者を送り、対等な関係をつくろうとしたといわれる。

問 13 文章中の下線部[13]に関連して、つぎの3つの文のうち、蘇我馬子ら蘇我氏について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

1. 蘇我馬子は、推古（すいこ）天皇の摂政（せつしょう）となった聖徳太子と協力して政治をおこなった。
2. 蘇我馬子の孫の入鹿（いるか）は中大兄皇子（なかのおおえのおうじ）に殺され、その父の蝦夷（えみし）も自殺したので、蘇我氏はほろんだ。
4. 入鹿の弟の鎌足（かまたり）は、大化（たいか）の改新で中大兄皇子に協力したので、藤原の姓（せい）をもらい、藤原氏の祖先となった。

問 14 文章中の下線部[14]に関連して、つぎの3つの文のうち、万葉集について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

1. 万葉集は、8世紀なかばにつくられた、日本で最も古い和歌集である。
2. 万葉集には多くの和歌がおさめられており、大伴家持（おおとものやかもち）らの編さんと考えられている。
4. 万葉集は、天皇の命令でつくられた和歌集なので、天皇や貴族（きぞく）の歌しかのせられていない。

問 15 文章中の下線部[15]に関連して、つぎの3つの文のうち、鑑真のように中国から仏教の教えを伝えた僧侶（そうりょ）について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

1. 鑑真は、8世紀なかばに、遣唐使（けんとうし）に同行して唐とよばれた当時の中国にわたり、戒律（かいりつ）を学んで、日本に伝えた。
2. 空海（くうかい）は、9世紀初めに、遣唐使に同行して唐にわたり、真言宗を日本に伝えた。
4. 栄西（えいさい）は、宋（そう）とよばれた当時の中国にわたり、禅宗（ぜんしゅう）を学び、臨済宗（りんざいしゅう）を日本に伝えた。

問 16 文章中の下線部[16]に関連して、つぎの3つの文のうち、奈良時代について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

1. 聖武（しょうむ）天皇は、仏教の力で国を守るために、地方の国々に国分寺をつくり、都には大仏をつくった。
2. 墾田永年私財法（こんでんえいねんしざいほう）により、土地の私有が認められるようになったので、律令制の基本である公地公民制はくずれていった。
4. 奈良時代の文化を天平（てんぴょう）文化とよぶが、東大寺の正倉院（しょうそういん）には、天平文化を代表する宝物が保存されてきた。

問 17 文章中の下線部[17]に関連して、つぎのA～Dは、平安時代におきたできごとです。そのできごとがおきた順にならべたものとして正しいものを、(1)～(8)の中から1つ選び、番号で答えなさい。

- A：白河上皇（しらかわじょうこう）が院政を開始した。
 B：関東で平将門（たいらのまさかど）が反乱をおこした。
 C：藤原道長（ふじわらのみちなが）が政治をおこなった。
 D：菅原道真（すがわらのみちざね）の意見により遣唐使が停止された。

- (1) A→B→C→D (2) A→C→B→D (3) B→C→A→D (4) B→C→D→A
 (5) C→A→D→B (6) C→B→D→A (7) D→A→C→B (8) D→B→C→A

平成22年度	土佐塾中学校入学試験問題（県外Ⅱ）	社 会	5枚のうち4枚目
--------	-------------------	-----	----------

受験番号

問 18 文章中の下線部[18]に関連して、つぎのA～Dは、平氏に関係したできごとです。そのできごとがおきた順にならべたものとして正しいものを、(1)～(8)の中から1つ選び、番号で答えなさい。

A：富士川の戦い B：保元（ほうげん）の乱 C：平治（へいじ）の乱 D：壇ノ浦（だんのうら）の戦い

- (1) A→B→C→D (2) A→C→B→D (3) B→C→A→D (4) B→C→D→A
(5) C→A→D→B (6) C→B→D→A (7) D→A→C→B (8) D→B→C→A

問 19 文章中の下線部[19]に関連して、つぎの3つの文のうち、鎌倉時代について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

1. 鎌倉幕府の政治は、執権（しっけん）の地位についた北条氏一族によっておこなわれるようになった。
2. 執権北条義時（ほうじょうよしとき）は、律令の決まりをそのまま取り入れて、御成敗式目（ごせいばいしきもく）を定めた。
4. 執権北条時宗（ほうじょうときむね）は、朝鮮半島の高麗（こうらい）と連合して、モンゴル軍を撃退（げきたい）した。

問 20 文章中の下線部[20]に関連して、つぎの3つの文のうち、戦国時代について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

1. 1467年に始まった応仁（おうにん）の乱から後の、各地で戦乱がつづいた約100年間を戦国時代という。
2. 1543年、種子島（たねがしま）に伝わったといわれる鉄砲（てっぽう）は、戦いのようすを大きく変えた。
4. 1549年、フランシスコ＝ザビエルが伝えたキリスト教は、ヨーロッパ諸国との貿易の利益をねらった大名たちには広まったが、民衆の間にはまったく広まらなかった。

問 21 文章中の下線部[21]に関連して、つぎのA～Dは、江戸時代におきたできごとです。そのできごとがおきた順にならべたものとして正しいものを、(1)～(8)の中から1つ選び、番号で答えなさい。

A：徳川吉宗（とくがわよしむね）が享保（きょうほう）の改革をおこなった。
B：松平定信（まつだいらさだのぶ）が寛政（かんせい）の改革をおこなった。
C：田沼意次（たぬまおきつぐ）が政治をおこなった。
D：水野忠邦（みずのただくに）が天保（てんぼう）の改革をおこなった。

- (1) A→B→C→D (2) A→C→B→D (3) B→C→A→D (4) B→C→D→A
(5) C→A→D→B (6) C→B→D→A (7) D→A→C→B (8) D→B→C→A

問 22 文章中の下線部[22]に関連して、つぎの3つの文のうち、東京について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

1. 東京は、人口が多く、首都として情報が集まるので、印刷・出版業がさかんである。
2. 東京都をふくむ関東内陸工業地域では自動車産業がさかんで、東京都の自動車生産台数は日本一である。
4. 1923年の関東大震災では、東京は大きな被害をうけ、第1次世界大戦後の不景気はいっそうひどくなった。

問 23 文章中の下線部[23]に関連して、つぎの3つの文のうち、1909年ころの日本のようすについて説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

1. 1909年、伊藤博文（いとうひろぶみ）が暗殺されたことをきっかけとして、1910年、韓国併合（かんこくへいごう）がおこなわれた。
2. 1909年の2年後の1911年、日本は不平等条約を改正する交渉（こうしょう）に成功し、関税自主権を回復した。
4. 1909年ころには、日本でも重工業がさかんになり、産業革命（さんぎょうかくめい）が本格的に始まっていた。

問 24 文章中の下線部[24]に関連して、つぎの3つの文のうち、長野県について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

1. 長野県の飛騨（ひだ）山脈・木曽（きそ）山脈・赤石（あかいし）山脈は、あわせて日本アルプスとよばれる。
2. 長野県嬬恋（つまごい）村など八ヶ岳（やがたけ）の周辺では、夏のすずしい気候を利用して、高原野菜の栽培がさかんである。
4. 長野県諏訪（すわ）市などでは、かつては製糸業がさかんであったが、その後は精密機械工業や電子工業がさかんになっている。

問 25 文章中の下線部[25]に関連して、つぎの3つの文のうち、青森県について説明した文として正しいものをすべて選び、文頭の数字の合計を答えなさい。

1. 青森県の津軽（つがる）半島など東北地方の太平洋岸は、夏に北東からふく「やませ」とよばれる風により冷害が発生することがある。
2. 青森県では、すずしい気候を利用して、リンゴの栽培がさかんで、その生産量は日本一である。
4. 青森県の三内丸山遺跡（さんないまるやまいせき）は、弥生時代を代表する遺跡である。